

令和2年度春期文部科学省インターンシップ受入れ計画

指導担当者役職：企画調整係長
氏名：大坪彩子

受入れ局課室名	研究開発局地震・防災研究課			
募集学校種 ※短期コース	<input type="radio"/> 大学院 <input type="checkbox"/> 高等専修学校	<input type="radio"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 高等学校	<input type="checkbox"/> 短期大学 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校	<input type="radio"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 専門学校 <input type="checkbox"/> 問わない <small>(○がマークされている部分が希望学校種となります)</small>
募集学校種 ※長期コース	<input type="checkbox"/> 大学院 <input type="checkbox"/> 高等専修学校	<input type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 高等学校	<input type="checkbox"/> 短期大学 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校	<input type="checkbox"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 専門学校 <input type="checkbox"/> 問わない <small>(○がマークされている部分が希望学校種となります)</small>
受入れ期間 ※短期コース	2月1日～3月5日 (上記期間中で1人につき、原則2週間)		受入れ人数 (期間内の合計受入れ数)	1人
受入れ期間 ※長期コース	—		受入れ人数 (期間内の合計受入れ数)	—
受入れ形態	全日実地実習を予定。			
選考時の面接の 実施予定	短期 コース 予定あり <input type="checkbox"/> 予定なし <input checked="" type="checkbox"/>	長期 コース 予定あり <input type="checkbox"/> 予定なし <input checked="" type="checkbox"/>		
受入れ条件	地震・防災分野及び火山分野に関する政策に興味のある学生。専門的な知識は必須ではありません。			
実習内容	我が国は、地震や津波、火山噴火、台風など自然災害が多く発生する地域に位置しており、近年においても、熊本地震や東北地方太平洋沖地震、広島土砂災害や御嶽山の噴火などにより多くの被害が出ています。地震・防災研究課では、こうした自然災害による被害の軽減を目指した研究開発を推進しています。また、このような研究開発を通じて得た知見や研究開発の現状について、一般の国民に正確な情報を提供し理解してもらうことは、一人一人の国民の防災意識を高めるためにも非常に重要です。インターンシップでは、主に地震・防災分野や火山分野の研究開発の促進にかかわる業務や、広報の在り方についての検討、各種会議の準備・傍聴などの行政の仕事を経験してもらい、最終日には成果報告会での発表を予定しています。			
受入れ局課室紹介	地震・防災研究課では、地震や津波、火山噴火、台風、豪雪などの自然災害による被害の軽減を目指した研究開発を推進しています。 具体的には、 ・地震調査研究推進のための方針を立案し、地震の発生確率・規模の予測精度向上や、地震発生メカニズム解明に向けた調査研究を実施しています。 ・地震が発生した際の社会的・経済的被害が大きいと想定される南海トラフの地震や首都直下地震等を対象とした大規模な調査観測・研究プロジェクトを実施しています。 ・火山分野については、御嶽山の噴火以前から継続していた従前の観測研究に加え、他分野との連携・融合を図り、「観測・予測・対策」の一体的な火山研究及び広範な知識と高度な技能を有する火山研究者の育成を推進しています。(次世代火山研究・人材育成プロジェクト) ・防災については、実大三次元震動破壊実験施設(E-ディフェンス)を利用した耐震技術に関する研究のほか、様々な自然災害に対応した防災科学技術の研究開発を推進しています。			
受入れ局課室からの 一言	地震・防災分野及び火山分野の研究開発の促進に関する行政に興味・関心のある積極的な学生を歓迎いたします。			

令和2年度春期文部科学省インターンシップ受入れ計画

指導担当者役職：総括係長、係員
氏名：小原聡真、林哲子

受入れ局課室名	研究開発局海洋地球課			
募集学校種 ※短期コース	<input type="radio"/> 大学院 <input type="checkbox"/> 高等専修学校	<input type="radio"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 高等学校	<input type="checkbox"/> 短期大学 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校	<input type="radio"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 専門学校 <input type="checkbox"/> 問わない
(○がマークされている部分が希望学校種となります)				
募集学校種 ※長期コース	<input type="checkbox"/> 大学院 <input type="checkbox"/> 高等専修学校	<input type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 高等学校	<input type="checkbox"/> 短期大学 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校	<input type="checkbox"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 専門学校 <input type="checkbox"/> 問わない
(○がマークされている部分が希望学校種となります)				
受入れ期間 ※短期コース	2月1日～3月5日 (上記期間中で1人につき、原則2週間)		受入れ人数 (期間内の合計受入れ数)	1人
受入れ期間 ※長期コース	—		受入れ人数 (期間内の合計受入れ数)	—
受入れ形態	実地実習			
選考時の面接の実施予定	短期コース 予定あり <input type="checkbox"/> 予定なし <input type="checkbox"/>	長期コース <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	予定あり <input type="checkbox"/> 予定なし <input type="checkbox"/>	
受入れ条件	海洋科学について興味関心をお持ちの方やグローバルな視点での政策提案を体験してみたい方を歓迎いたします。なお、Word・Excel・PowerPointなど、パソコンの基本操作ができることが望ましいです(専門知識や技術は必要ありません)。			
実習内容	<p>以下のようなテーマについて情報収集していただき、そのうえで文部科学省や当課が今後取り組んでいくべき方向性をご提案いただきたいと思います。(テーマについては、実習生の希望を踏まえて決定いたします。)その他、会議の傍聴や職員へのインタビュー等、海洋地球課の業務について幅広く知っていただく機会を設ける予定です。</p> <p>【テーマ例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○海洋・極域分野のコンテンツ(映像等)を小中学生の教育や広報に生かす取組 ○海洋・極域分野の若手研究者を増やすために必要な取組 ○AUV(自律型無人潜水機)等海のモビリティ 			
受入れ局課室紹介	<p>海洋・極域分野の研究開発は、地球環境問題の解決、海溝型巨大地震への対応、海洋資源の開発など、我が国のみならず今後の人類の発展に深く関わる重要な課題の解決を図るためにも必要不可欠となっています。たとえば、海洋プラスチックの問題は、レジ袋の有料化などに関連する身近な話題としてご存知の方も多いのではないでしょうか。</p> <p>海洋地球課では、海洋・極域分野における研究開発を進めていくため、所管している海洋研究開発機構(JAMSTEC)のほか、国立極地研究所や国内外の大学、研究機関等と連携しながら仕事に取り組んでいます。また、各省・各国と連携しながら進めている部分も多く、その一端を体験していただきたいという思いで実習テーマを設定しています。本インターンシップを通し、海洋・極域分野について理解を深めていただければ幸いです。</p>			
受入れ局課室からの一言	海洋・極域分野の研究開発は、地球を相手にしたスケールの大きなものが多く、海外との関わりも多い分野です。大きな視点で物事を考える経験をしてみたいという意欲のある方をお待ちしています！			

令和2年度春期文部科学省インターンシップ受入れ計画

指導担当者役職：総括係長
氏名：三村 麻智

受入れ局課室名	研究開発局環境エネルギー課			
募集学校種 ※短期コース	<input type="radio"/> 大学院 <input type="checkbox"/> 高等専修学校	<input type="radio"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 高等学校	<input type="checkbox"/> 短期大学 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校	<input type="checkbox"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 専門学校 <input type="checkbox"/> 問わない
(○がマークされている部分が希望学校種となります)				
募集学校種 ※長期コース	<input type="checkbox"/> 大学院 <input type="checkbox"/> 高等専修学校	<input type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 高等学校	<input type="checkbox"/> 短期大学 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校	<input type="checkbox"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 専門学校 <input type="checkbox"/> 問わない
(○がマークされている部分が希望学校種となります)				
受入れ期間 ※短期コース	— 2月中(受け入れ2週間)		受入れ人数 (期間内の合計受入れ数)	1人
受入れ期間 ※長期コース	—		受入れ人数 (期間内の合計受入れ数)	—
受入れ形態	実地実習			
選考時の面接の実施予定	短期コース 予定あり ○	長期コース 予定あり ○	短期コース 予定なし □	長期コース 予定なし □
受入れ条件	地球温暖化対策、気候変動適応、脱炭素社会実現といった、グローバルかつダイナミックな政策課題に興味がある方。(専門知識は不要です。) なお、Word・Excel・PowerPointなど、パソコンの基本操作ができることが望ましい。			
実習内容	平成27年12月に2020年以降の温室効果ガス削減等のための国際枠組みとして、「パリ協定」が採択され、2℃目標等に向けて各国の気候変動に対する対策の重要性が増大しています。 科学技術の側面から、気候変動問題の解決に貢献するため、グローバルな気候変動に対する「緩和」(省・蓄・創エネルギー)と「適応」(気候変動予測・対策)のための政策として文部科学省が取り組むべきミッションを国家戦略全体の中で俯瞰し、諸外国との調整、経済産業省や環境省等の関係府省庁との連携等を通じた、環境エネルギー科学技術の研究開発等の多様な業務の一端に触れていただきます。 また、文部科学省の職員へのインタビューや会議への出席を通じて、環境エネルギー分野における文部科学省の仕事への理解を深めていただきます。 実習初日に課題を設定し、実習最終日に発表、職員との意見交換を予定しています。 (例：環境エネルギー分野の政策課題を学び、その解決策を提案していただく。)			
受入れ局課室紹介	文部科学省では、地球温暖化による気候変動問題を解決するため、温室効果ガスを削減しつつ、持続的な発展を可能とする「脱炭素社会」への転換を目指した研究開発を推進しています。具体的には、 ・農業関係の収量予測、防災対策等の適応策に必要な気候予測情報の創出 ・気候変動等の地球規模課題の解決に貢献する地球環境ビッグデータを用いたプラットフォームの構築 ・IPCC(気候変動に関する政府間パネル)をはじめとした国際枠組みへの貢献 ・電力消費の大幅な効率化を可能とする次世代半導体の研究開発 ・次世代蓄電池等の温室効果ガス排出を大幅に削減する革新的な技術の研究開発 など、大学、研究開発法人(理化学研究所や物質・材料研究機構等)、企業等の第一線の研究者とのインタラクションを通じ、様々な環境エネルギー科学技術の研究開発に取り組んでいます。			
受入れ局課室からの一言	環境エネルギー分野の研究開発の推進に興味・関心のある方はぜひお越しください。			

令和2年度春期文部科学省インターンシップ受入れ計画

指導担当者役職：開発係長
氏名：高橋 安大

受入れ局課室名	研究開発局宇宙開発利用課			
募集学校種 ※短期コース	<input checked="" type="checkbox"/> 大学院 <input type="checkbox"/> 高等専修学校	<input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 高等学校	<input type="checkbox"/> 短期大学 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校	<input type="checkbox"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 専門学校 <input type="checkbox"/> 問わない <small>(○がマークされている部分が希望学校種となります)</small>
募集学校種 ※長期コース	<input type="checkbox"/> 大学院 <input type="checkbox"/> 高等専修学校	<input type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 高等学校	<input type="checkbox"/> 短期大学 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校	<input type="checkbox"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 専門学校 <input type="checkbox"/> 問わない <small>(○がマークされている部分が希望学校種となります)</small>
受入れ期間 ※短期コース	2月1日～3月5日 (上記期間中で1人につき、原則2週間)		受入れ人数 (期間内の合計受入れ数)	1人
受入れ期間 ※長期コース	—		受入れ人数 (期間内の合計受入れ数)	—
受入れ形態	実地実習のみ。(オンラインでの実習は対応不可)			
選考時の面接の実施予定	短期コース 予定あり 予定なし	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	長期コース 予定あり 予定なし	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
受入れ条件	「宇宙・航空」の研究開発に興味・関心があり、将来、行政機関等での仕事を希望している方(専門知識は必要ありません。)			
実習内容	研修生の希望を最大限考慮しながら、宇宙関連施策に関する業務のサポートを通じて、我が国における宇宙開発利用・航空科学技術の最前線を体験していただきます。具体的には、資料の作成や会議への出席、宇宙関連施設の見学などを想定しています。			
受入れ局課室紹介	宇宙開発利用課では、文部科学省の所掌する宇宙・航空政策に関する仕事をしています。特に当課では宇宙航空研究開発機構(JAXA)を所管し、日本における宇宙・航空の研究開発・利用などに関するプロジェクトの企画立案や進捗管理、予算編成を行っています。具体的な取組としては、新型基幹ロケットH3ロケットの開発や、先進光学衛星(ALOS-3)、先進レーダ衛星(ALOS-4)等の次世代衛星の開発、小惑星探査機「はやぶさ2」に代表される宇宙科学・探査分野における各プロジェクトの推進、高い安全性や機能性をもつ次世代航空機の研究開発、そして我が国の宇宙開発利用を支える人材の育成などが挙げられます。また、日本人宇宙飛行士が多数活躍している国際宇宙ステーション(ISS)計画等に関する活動を通じ、米国NASAや欧州ESA等との国際協力業務も行っています。			
受入れ局課室からの一言	「宇宙・航空」というフロンティアに関する業務は常に困難な課題に立ち向かう必要があります。様々な課題への対応を学ぶことで自身の将来の可能性を広げたい！という意欲にあふれる方をお待ちしています！！			

令和2年度春期文部科学省インターンシップ受入れ計画

指導担当者役職：係員
氏名：黒田 玄

受入れ局課室名	研究開発局 原子力課			
募集学校種 ※短期コース	<input type="checkbox"/> 大学院 <input type="checkbox"/> 高等専修学校	<input type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 高等学校	<input type="checkbox"/> 短期大学 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校	<input type="checkbox"/> 高等専門学校 <input checked="" type="checkbox"/> 専門学校 <input checked="" type="checkbox"/> 問わない <small>(○がマークされている部分が希望学校種となります)</small>
募集学校種 ※長期コース	<input type="checkbox"/> 大学院 <input type="checkbox"/> 高等専修学校	<input type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 高等学校	<input type="checkbox"/> 短期大学 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校	<input type="checkbox"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 専門学校 <input type="checkbox"/> 問わない <small>(○がマークされている部分が希望学校種となります)</small>
受入れ期間 ※短期コース	2月15日～2月26日 (上記期間中で1人につき、原則2週間)		受入れ人数 (期間内の合計受入れ数)	1人
受入れ期間 ※長期コース	—		受入れ人数 (期間内の合計受入れ数)	—
受入れ形態	実地実習			
選考時の面接の実施予定	短期コース 予定あり <input type="checkbox"/> 予定なし <input checked="" type="checkbox"/>	長期コース 予定あり <input type="checkbox"/> 予定なし <input checked="" type="checkbox"/>		
受入れ条件	ワード、エクセル、パワーポイント等の基本的なパソコン操作ができること。 (専門的な知識や技術は必要ありません。)			
実習内容	<p>【原子力課各係の業務補助を通じた行政実務の経験】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎資料の作成、データ修正、集計及び分析 ・委員会・作業部会の準備、運営補助及び傍聴 <p>※具体的な実習内容については、参加者の興味関心、希望等を考慮して計画する。</p>			
受入れ局課室紹介	<p>原子力課では、国として戦略的に重要な原子力の研究開発を実施しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○原子力災害からの復興を加速させるために、廃止措置・除染等の必要な研究開発を推進しています。 ○研究機関や大学におけるシビアアクシデント研究等の原子力安全確保等に貢献する基礎基盤研究・人材育成の取組を推進しています。 ○放射性廃棄物の減容化・処理処分の研究開発を推進しています。 ○高速炉の実証技術の確立に向けた研究開発を推進しています。 ○日本原子力研究開発機構を所管し、その運営に携わっています。 			
受入れ局課室からの一言	原子力に関する政策に興味・関心をお持ちの方の参加をお待ちしています！			